

第65号  
 発行日:令和元年10月1日  
 発行所:東京青山同窓会事務局  
 〒111-0032  
 東京都台東区浅草 3-8-2-1101  
 工藤 義夫(74回)  
 e-mail:info@tokyo-aoyama.org  
 TEL:090-1704-2413  
 HP:https://www.tokyo-aoyama.org/  
 発行者 日下部朋子(82回)

# 東京会報

**東京青山同窓会**  
 -東京青山同窓会年間維持費-  
 1口1,000円/2口以上(年間)  
 会計幹事:川上康夫(79回)  
 振込先:極力①でお願いします。  
 ①郵便振込口座 00150-9-4074  
 加入者名 東京青山同窓会  
 ②三井住友銀行京橋支店 普 8430640  
 東京青山同窓会 会計幹事 川上康夫

## 令和元年度「総会・新人歓迎会」～昭和・平成から続く同窓会 (127回卒)

記・工藤義夫 74回

### <前書～東京青山同窓会 ヒストリア>

30年振り改元の令和に因み、本会を回顧する。記録では、昭和20年代後半(1950年代半ば)に青山同窓会が発足。昭和40年(1965)青山会報第1号に東京青山同窓会の初代役員の記事がある。以来、東京(=首都圏他)同窓会は独自運営される。昭和40年までは49期以前と50期以降とで同窓会は別個だったが、若手の尽力で昭和43年に大合同で総会開催。徐々に総会・講演会・歓迎会等も活発となる。昭和57年東京会報初号発行、ほどなく新人歓迎会開催、昭和60年代初(1985年頃)から東京会報も年2回発行され現在に至る。東京同窓会も1990年代ピーク時は350人、新人も100人参加など、大いに賑わった時代もあった由。

旧制中学～新制高校の流れで、戦後女子も入学し徐々に増え今では男女半々と完全な共学に。3年後に創立130年。全卒業数43千人、内、東京会1万人弱。現状、所在判明4千人弱。今日まで東京会は総会や会報発行等を長きに継続中。  
 \*\*\*\*\*

### <令和 1.6.21総会&127期新人歓迎会>

梅雨どきの黄昏、日比谷公園を見下ろす前回と同じ会場。金曜の夕べ、127回卒フレッシュな新人13名を含む140余名が集う。毎年、新人にはもっと多くの参加を期待するも例年並み。しかし、新人各男女の挨拶では、音楽部・野球部の中川大喜君がギター持参で即興の歌で応えてくれ、会場をとびきり賑わせてくれた(大盛況)。

今回、大越健介氏(88回卒)の講演も楽しみに、想定以上の方が参加しテーブル席が20ほど足りず遅く来られた方は後方ソファ席や立ち見となってしまうが熱気一杯。

第1部の総会は司会・山田泰聖君(126回)。

佐藤会長に代り、池一副会長が東京同窓会の紹介を、続いて会務・会計報告では財政回復黒字化後は本会の充実と改革の活動方針等を拍手にてご承認頂く。来賓の敦井榮一青山同窓会会長からは、昨夏の幻の甲子園に鑑み「がんばれ青山」寄付口座開設と佐藤東京会長の参院選など。また、市川亮学校長から母校音信、先週の伝統の青陵祭や今春の進学実績、文化・スポーツ活動の顕著な実績等々が語られた。ここでウェルカムドリンクで喉をちよい潤して“小休憩”～意外に好評。

第2部は新人歓迎会。講演は、大越健介氏(88回)の「ニュースの現場から」。2部司会・酒井優理子さん(110回)の秀逸な紹介に続き、テレビでお馴染の顔が登場(大拍手)。記者の原点として取材では現場と人々の生の声を届けるとの基本姿勢や取材した人々への共感を感じることも多くあったと語り、新人には人を記号でみるのではなく、個々に異なる人として語り合ってほしいと。他に新潟のスポーツ事情、野球部での話などを語った。質問にも真摯に答え、野球部OBの記念撮影も。

次いで、恒例の新人コールへ。123回卒の目黒晶之君(東大アメフト部)が13人(女子5、男子8)を紹介、返礼は前述の中川君の他、海洋大学の須貝優貴(将来船長目指す)さんが伸びやかに抱負を語り、新人と先生とで記念撮影も。

第3部司会は123回卒就職内定の野口実里さん。本日長老61回卒の安宅久憲先輩の乾杯発声で漸くの飲食懇親モード。「今後の同窓会改革」と銘打ちお馴染みの壮若年2トップのモリ・リントウ登壇、90期森豊さんと122期田中麟太郎さん両名が 来年は90期 主催

で土・昼の開催。以降は、卒回リレーで試行すると。又、青山OB・OG等による新刊の紹介も。次いで、集合写真、新人との校歌斉唱・応援歌ますらお合唱と。11月の「カジュアル・ますらお会」もPR、正味3時間も瞬間に終了・解散。美食・美酒・そこかしこの再会と歓談、長くも東の間の“令和最初の賑わい”であった。

さあ！来年からは“新スタイル”の東京同窓会の正念場だ！？・・・集うよ我等千余人♪へ・・・と行くかどうか？、先ずは乞うご期待を。

### <お知らせ>

◆【来年同窓会】新スタイル～  
 2020. 6. 20 ; 90期主催  
 ～以降、卒回リレー 3頁も参照  
 <土・昼・4hr・立食主 & 一部席>

・総会参加費；事前振込導入  
 原則：～10日前迄  
 (会報/ホームページ/email等で周知)  
 当日会場払：上記+1千円  
 \*\*\*\*\*

◆拡大幹事会 11. 30(土) 15時  
 90期～126期の各期代表 >1名  
 (主旨；同窓会主催の周知、等)  
 会議室にて→引き続き →

◆第4回ますらお会 11. 30 (土)  
 16時～番屋・有楽町店～カジュアル会  
 \*\*\*\*\*

◆東京ホームページ・リニューアル◆  
 お知らせ・問合・振込通知等  
 https://www.tokyo-aoyama.org/

## 140余人集合；2019/令和元年「総会・新人歓迎会」

アラスカ(日比谷地区・プレスセンター店)

講演：大越健介氏



# 令和元年度「総会・歓迎会(127回卒)」～ 続き・ハイライト



## 東京青山同窓会 令和元年度「総会 および 新人歓迎会(127回生)」 講演会～ 懇親会

令和元年(2019年)6月21日(金)

「アラスカ」レストラン・日本プレスセンター店

【1, 2次会兼用; プログラム】敬称略

第1部:「総会」6:30～ 司会:学年幹事 山田泰聖(126回)  
 6:30 1)挨拶 東京青山同窓会副会長 池一(74回)  
 6:33 2)議題 会務報告 事務局長 工藤義夫(74回)  
 会計報告 会計幹事 川上康夫(79回)  
 6:38 3)来賓紹介・挨拶 ◎青山同窓会長 教井榮一様(69回)  
 ◎副会長 同 副会長 渡邊 毅 様(85回)  
 ◎新潟高校学校長 市川 亮 様  
 旧3学年部長 押木和子 先生  
 旧3年2組担任 長谷川聡先生(102回)  
 旧3年9組担任校内幹事 近藤善龍 先生(92回)  
 6:42 4)母校音信 新潟高校学校長 市川 亮 様

◆6:45～7:00 小休憩～ウェルカムドリンク～◆

第2部:「新人歓迎会」7:00～司会:学年幹事 酒井優理子(110回)  
 7:00 1)講演 「ニュースの現場から」～30分間～  
 NHK報道局記者主幹 大越健介 様 (88回)  
 7:25 質疑:2～3名程度(約5分間) <野球部(記念撮影)>  
 7:30 2)新人コール 学年幹事 目黒晶之(123回)  
 7:35 3)返礼の辞 新人代表・男女 中川大喜 & 須貝優貴(127回)+<新人+先生撮影>

第3部:「懇親会」7:40～ 司会:学年幹事 野口美里(123回)  
 ...ドリンク2時間 フリー 7:40～9:30(各自バーカウンター等で受領)・・・  
 7:40 1)乾杯発声 (本日の長老) 安宅久憲(61回)  
 ～8:10～懇親～【乾杯後、料理の提供】  
 8:10 2)お話【今後の同窓会改革】森 豊(90回)/田中麟太郎(122回)  
 ◆新刊本紹介: 福田満(58回)、歌代幸子(90回)、など  
 8:20～8:50～懇親(継続)～  
 8:50～記念撮影～【集合写真】&【新人写真】  
 8:55～3)校歌斉唱(新・旧) 学年幹事 関 佑樹(113回)  
 市川 亮 様 学年幹事 長谷川 健(124回)+ほか  
 4)応援歌合唱 東京 副会長 佐藤 茂(77回)  
 9:05～5)閉会の辞 野口美里(123回) ～9:30までフリードリンクです。  
 9:06～9:30～懇親(継続) ～9:30までフリードリンクです。  
 9:30～10:00 退出 ... 他での二次会はありません(各自ご自由に)

受付: 坂井靖74,有園順子75,佐藤茂77,日下部朋子82,榎本飛鳥117,宮本真理子120他  
 会計: 川上康夫79,尾口優子102 / 記録: 工藤義夫74,佐藤茂104.

<東京青山ホームページ・リニューアル> <https://www.tokyo-aoyama.org/>

次回2020年「総会・128回卒新人歓迎会」◆90期主催◆  
 令和2年6月20日(土)11時半～(4時間)  
 「アラスカ」～以降、卒回リレー方式主催へ



新人 中川大喜



新人 須貝優貴

### ◇講演・講師紹介◇

◆大越 健介 氏【88回卒】◆  
 日本放送協会(NHK)報道局記者主幹

テーマ;『ニュースの現場から』  
 (野球～報道～世界の今など...)

★横顔紹介★  
 高校・大学と野球(捕手→投手)。  
 日米大学選抜.Mマガワイアと対戦。  
 東大国文科卒。NHK報道局政治部、  
 ワシントン支局長、NW9・MC等の後、  
 現在サンデースポーツ2020のMC担当。  
 “スポーツマン”/“もの言うキャスター”



大越氏

顔・かお



第一部:総会・挨拶  
 第一部:司会 池一/東京副会長 教井榮一様 市川 亮・学校長 工藤義夫 川上康夫  
 山田泰聖/126 74期/本会概要 69/青山同窓会 「母校音信」 74/事務局長 79/会計幹事



第二部:新人歓迎会  
 第二部:司会 酒井優理子/110 講師:大越健介氏 NHK・88期 新人コール 目黒晶之/123 須貝優貴/127 関一之/キターにて 中川大喜/127 乾杯・長老 安宅久憲/61



第三部:懇親会など  
 第三部:司会 同窓会改革中&若代表 森豊/90&田中麟太郎122 校歌斉唱(玲瓏・松葉) 関佑樹/113 大滝一朗/127 応援歌(ますらお) 閉会幹・副会長 長谷川健/125 77/佐藤茂



127期・新人

先生

大越氏



“ますらお”合唱



大越氏と野球部など

# 会長挨拶

東京青山同窓会会長 佐藤 信秋 74回



～ 佐藤会長～  
2019年9月

会員の皆様にはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

先日の総会には第127回卒の新人13人

を迎え、140人のかつてない多くの皆様にご参加頂き、会長として心から御礼申し上げます。当日は最年長の福田満先輩(第58回卒)をはじめ、老、壮、青の多くの皆様が交流を図り、楽しいひと時を過ごして頂き、何よりのことと存じます。私自身はどうしても所用の為出席かなわず申し訳ありませんでした。

講演の講師を務めたNHKの大越健介さん(第88回卒)から、「信さん、東京青山同窓会に初めて出させてもらいました。皆和気あいあいと、時を超えて、年齢を超えて青山を語り合い、若者から、これからの夢も聞いて、又多くの経験を語り合い、本当に良いものですね。貴重な出会いの場として、時間の許す限り、また出たいと思います。」との報告をもらいました。

そうなのです。絆、縁(えにし)を大切に語るいのちの場として、一層、多くの皆様に参加頂けるようにしていきたいものです。何よりもふる里新潟の広報宣伝を会員皆で盛り上げていきましょう。

◆ **変わります！東京同窓会** ◆  
 ～ 来年始まる ～ # TOKYO WITH YOU  
**2020.6.20 “(土)昼” 11:30～4 hrs / アラスカ**  
**「90期・主催」以降、卒年次リレー**  
 <受付会計, プログラム, 司会, イベント, 講演等 担当>

\*\*\*\*\*  
 (参加費; 原則振込～10日前/以降～当日は+1千円) ... 受付混乱回避  
 詳細; 会報郵送者は振込用紙。他は、HP & Email等で周知 <指定口座振込>

<自由散歩～イタリアンなお店>

神保町路地角 **Bar Per caso (バル・ペルカーソ)**  
 ～イタリアン・カフェ・バー 5月開店～  
<https://www.percaso.jp/>  
 神田神保町1-20  
 050-5597-5093  
 営業; Week dayのみ。  
 ランチから夜まで。  
 ◆ぜひ、どうぞ◆

オーナー“名伯楽”  
 太田 裕さん(71回卒)

令和元年度予算 および 同決算(上半期)			
(H31年4月1日～R2年3月31日)			
令和元年9月30日現在 (金額: 円)			
摘要	令和元年度予算 (H31.4.1～R2.3.31)	令和元年度決算 (H31.4.1～R1.9.30)	備考 (令和元年度分)
期首現預金残高	2,104,673	2,104,673	
収			
年会費	800,000	844,000	400人; 前期+0.9
総会費	500,000	703,500	総会兼新人歓迎会 (会場変更: 100人)
本部補助	100,000	100,000	
雑収入計	60,000	70,000	
入			
受取利息	11	8	
合計	1,460,011	1,717,508	
支			
総会費用	700,000	846,000	総会兼新人歓迎会 (アラスカ・Pr.C店)
第3回ますらお会補助	120,000	0	2回分; (H30&R1)
会報通信費計	500,000	0	2回分; 郵送数減。 印刷等; 外注→内製
事務局費	264,000	80,000	人件費、出張費等
ホームページ改修費	110,000	0	ホームページ刷新 サーバーレンタル料等
出			
会議費	110,000	0	会議2回+検討会1回
手数料	40,000	53,870	
雑費	1,000	0	
合計	1,845,000	979,870	
期末現預金残高	1,719,684	2,842,311	

注1) 会計年度期間: 2019年度 (H31.4.1～R2.3.31の1年間)

★ **事務局からのお知らせ** ★

◆ **年会費振込; 氏名卒回必ずご記入を!** ◆  
 1) 郵便振替口座; 極力こちらで振込願います  
 00150-9-4074 東京青山同窓会  
 2) 三井住友銀行; 京橋支店  
 普 8430640 青山同窓会会計幹事 川上康夫

◆ **よろず相談** ◆ 事務局; 工藤義夫 (74回卒)  
 e-mail; 事務局 [info@tokyo-aoyama.org](mailto:info@tokyo-aoyama.org)  
 個人 [plutarchoshannibal@yahoo.co.jp](mailto:plutarchoshannibal@yahoo.co.jp)  
 Mobile; 090-1704-2413  
 \*\*\*\*\*  
 ♪ 会報寄稿依頼; 同期会, 部会, スポレク, 趣味, 旅行  
 などフリー。400～800字、写真も。自薦・他薦も。

★ **東京青山会ホームページ** ★  
 ～5月新画面再登場～カラーでタイムリー!  
 案内、問合、他 Archives等も (制作: 渡邊修也氏・90回卒)  
 HP; <https://www.tokyo-aoyama.org/>

★ **探してます! 古い東京会報** ★  
 ～第1～11号と第17号ありませんか?～  
 ほか(～最新64号)は東京HPに掲載します。  
 事務局・工藤義夫

# 令和元年度～第4回・カジュアル「ますらお会」ご案内

番屋  
◆日時・場所・費用

## 令和元年11月30日(土)

一次会; 16時～19時 (3時間)  
場所; 「番屋」有楽町店  
住所; 千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル - B2F  
TEL.; 03-3201-3201

男性; 6,000円  
女性; 5,000円  
学生; 2,000円  
新人; 1,000円  
(127回卒)



<壮・若手の幹事>  
“もり・りんたろう”

- ・ 森 豊 (90回)
- ・ 田中麟太郎 (122回)



二次会

<自由参加、各自清算>  
二次会; 19時～  
場所; 「Pronto IL BAR」  
住所; 千代田区丸の内3-5-1  
東京国際フォーラムB1  
TEL.; 03-5219-6008



## 2020年度総会\*新人歓迎会(令和2年)年6月20日(土)昼「アラスカ」

90期主催; 土/昼11:30～4hrs <参加費・事前振込制> (日本プレスセンタービル・10F)

### <聞いてきました・・・新潟県の高校・東京情報>

#### ◆よその高校の東京同窓会は今!??◆

(7.9 新潟県東京事務所主催意見交換会～渡邊修也/90期, 工藤義夫/74期 出席)

- ・長岡高校; 5～6百名, 12千円, 50歳期幹事, 準備1年以上。  
(注: かなり強制的) <幹事期3回主催; 40歳長岡, 50歳東京, 60歳還暦花火>
- ・高田高校; 総会年1回。雑誌発行・雪椿100頁。(注: 本がすごい!)  
～以下、総会は、数年毎 あるいは 定期はなし～
- ・新津高校; 100～150名, 2年毎に総会。
- ・村上高校; 130名, 55歳期が総会幹事。
- ・中央高校; 総会無, 中高年齢30名懇親会有, 歌舞伎観劇会有。
- ・新潟南高; 東京江風同窓会、80名ほどに案内。
- ・明訓高校; 総会無, アルビレックス試合。学校支給20-30万円。
- ・柏崎工業; 60名ほどで総会。
- ・新発田高; 70名で総会。年会費無, 本部支給20-30万円。
- ・三条高校; SNSで20-30名集会、三条他団体とも交流。
- ・新潟商高; 活動無、村松高校; 長岡工高と連携で維持へ。等

わが東京青山は? ; 独自に、しなやかに、楽しめる!

### ◆偶数月・第2火曜の会◆ (自由参加の懇親会)にもどうぞ!◆

R1年: 10/8・12/10～R2年: 2/11・4/14・6/9 毎回18時～

◇日本海庄や・上野駅前店  
https://www.hotpepper.jp/strJ000127449/  
(上野6-14-6 山田ビル4階/電話 03-5807-1921)  
場所も時間も固定。ぶらりお立ち寄り。出来高払い。



# 大越健介氏・講演会(記録)～“令和元年度総会・新人歓迎会”

## テーマ「ニュースの現場から」～ほぼ全文

記・工藤義夫 74回

### 【ニュースの現場から】

#### ～人を“記号”でみないで～

大越健介氏(NHK記者主幹)

青山88回卒

**<はじめに>** 皆さん今晚は。ただいま過分なご紹介をいただき恐縮です。椅子が後ろ向きの方は体をよじったりしたままで疲れますので、椅子の向きを変えようとかどうぞリラックスして聞かれまますようお願いいたします(注:会場は対面式テーブル・椅子配置)。

ちょっと顔が赤いぞと言われ、飲んでないのに赤いのはよろしくない、飲んだから赤いということにしよう、いまウェルカムドリンクを急ピッチで飲んで、講演があるということをおぼえておりましたが、お話をさせていただきます(笑)。

先日、久しぶりに新潟のあるスポーツ雑誌から取材を受けました。ラグビーで新潟工業高校時代に日本代表フォワードでも活躍した確かヤエさんという方の特集で、今57歳でその話が載っていましたが、未だに18歳の時の映像が出ていました。

**<野球談議>** 去年夏の高校野球新潟県予選での母校の快進撃で、これは甲子園に行くんじゃないかと、いつもは取ってない新潟日報のネット版をにわか配信しワクワクして見ましたが、新発田高校に敗れてのベスト4。僕も高3年の時はピッチャーとして、春は準優勝、決勝で新発田高に負けました。準決勝で長岡高に5-1で完投勝ち、同じ日にお互い連投となり…3-3で延長10回、珍しくBSNのTV中継があったのですが、選手の健康に悪いということで、再試合で3-1で負けた。夏は準々決勝で春に勝った長岡高に2-12の5回コールドで叩きのめされ高校での野球は終わりました。これでもう野球はやめようと思った翌日、一晩寝たら、また野球をやりたい気持ちが湧き出しました。

大学で野球を続けよう。それも東京六大学だ！しかし早慶立明法には甲子園に出たり全国の有力選手などが入学したりでとても勝負にならない、そういうことから東大しかない！と思い、こういう理由で東大を目指したのは当時の受験生で恐らく私一人しかいなかったら、1年浪人すれば入れるだろう！成績も浪人中には伸びるだろうと思ったがそれは大間違い、サッパリ伸びなかったが、どうにか心臓で合格。その後は冒頭の司会者の紹介にあったような活躍(笑)でした。

### <今日の主題:アイデンティティー>

さて、毎日、自分のアイデンティティーは何かと考えています。3歳で両親の仕事の関係で寺泊から新潟市に移り、…新潟高校で、そして野球部でこの上もない経験を重ね…東大…そしてNHKに入る。新潟から多感な時代のアイデンティティー、新潟高校でのこと、今もそのまま生きてはきていますが、それだけでなく、その後もNHKのアイデンティティーを含めてすでに40年以上たっているが、とにかくいろんな自分がいた。

皆さんもそれぞれが、

#### 「記号」というものを考えてほしい。

私は…東大、NHKと進み…子供も3人、人にはいろんな記号がついてまわる。場合によってはひとつのレッテルを貼ってみないか？よく人をひとつの記号として見ることもあるが、どうかひとりの人間として見てほしい。記者時代に一番の思い出があるのは、東日本大震災です。報道される「被災者」、「被災地」という記号を考えてみた。

ともすると、われわれは「ひさいしゃ」や「ひさいち」という記号のひとつで見てはいないだろうか？映像化されたものを記号化したり、被災地は…被災者は…復興は…と？あるいは憲法問題・世界情勢でも、報道される戦争・難民などでも同様に。

どの場合でも、一人ひとりにそれぞれ生活・境遇などバックグラウンドや思いなどの人生がある。それぞれが愛したものがあ。それなのに、マスコミ人間は、ヒサイシャ・ヒガイシャは云々…という記号呼んでしまう、政府は復興しましたと言ってしま。実際に、釜石では高台で被害のなかった公営住宅には岩手県の各地から終の棲家として移ってきた、それを市の人が見回る…こういう人と話すと、アノヒト・ヒサイシャと…越えてきた人達を記号の「ヒサイシャ」というが、皆、それぞれの事情・生活・背景があるのに、それをこの人達を記号として見てはいないだろうか？

青山の人達も大人になって人を記号としていないか立ち止まって考えてほしい。弁護士になったら、立場上から仕事として弁護する、個人として記号で見ていないか？それぞれの人は、背景や人生を持っているだろう。ときに、ひとつの記号でくくるという危うさも考えてもらいたい。ヒサイシャのために、安定してきたら、その人なりの暮らし・人生・考えはそれぞれ違う、それぞれの人生があり悲しみもあることを忘れてほしい。また、仕事をしてゆく上で忘れてならないのは、記号として人間を見ることの危うさを考えてほしい。

**世界情勢の取材**では、難民排斥のための米国・メキシコ国境の壁につき、トランプ大統領の自国第一主義であったり、国の防衛への不安要素として中には麻薬・マフィアも流入しそこらの防衛策として、難民入国拒否を煽る。しかし、移民として見ず難民のレッテルで見ると、大統領として仕方ないにしても、心の幅を持って人間が必死に生きようとしているのを見捨ててはいないか？ホンジュラスからは多くの人が止むにやまれず家を捨て、命をかけて何日も歩き通して米国国境越えを目指している。それを国の安全確保上からは仕方ないにしても、それでも移民＝難民＝犯罪人と記号だけで見ないだろうか？人間、簡単には白か黒かなんて決められないこともある。

**スポーツ**にはひとりひとりの人間の輝きを見せる姿がある。メダルの数を追うばかりでなく、そうしたひたむきなアスリート達の素晴らしさを感じる。スポーツを通じて、人の可能性を見ることが出来る。人を記号としてみないよう各人の思いを感じてほしい。

**高齢者の運転事故**の問題についても、ひとくりに止めるとかということよりも、ひとりひとりの事情・背景も考慮して対処してゆくしかない。政治家・経営者にしても記号で片付けられない、実情を直視し舵取りをしてみたい。原発にしても、いろんな事情や背景も考え、どうしたらいいのか多様な議論も必要だと思います。自分たちの社会を良くするのに、この人はこういう人だときめつけられないで、その人の背景なども見て行きたいものです。

### <発見・経験・語り合う>

年をとっても、発見することは多い。若い人は、自分が何者かを考えてほしい。年をとって経験することから誰でもできます。経験を通じて、自分はこれからどう活かせるのか、右往左往しながらでも生きていってほしい。

また、時には、縦の社会も大事だと思う。横のつながりだけではなく、自分の祖父母・父母・子供であるとか、語り合う。正直、自分はまだ何も知らない…と。

申し訳ありません、長くなりましたが、以上とりめもない話を続けました、どうもありがとうございました。以上



司会: 酒井優理子



ニュースキャスター (文春新書) 新書

- 2012/4/19

大越 健介 (著)

新書 ¥ 1,280

### TOKYO 東京大学野球部 THE UNIVERSITY OF TOKYO BASEBALL CLUB

大越投手は、東京六大学リーグで東大のエースとして活躍、通算8勝27敗。日米大学野球選手権では史上初の東大から選ばれた日本代表選手に。右図では、昭和58年5月2日、東京六大学野球で早大を完封。

なお、成澤良(青山105回卒)氏も、東大野球部からNHKに入り政治部記者など。



現在、サンデースポーツMCを担当。

### ◆ 豆知識 ◆

大越氏は平成22年11月20日、母校の第7回青山学術文化講演会でも「ニュースの現場から」と題した講演をされています。内容は、青山会報・第92号(青山HP)参照。

# “新刊本の紹介～青山OB&OGによる”

記・工藤義夫 74回

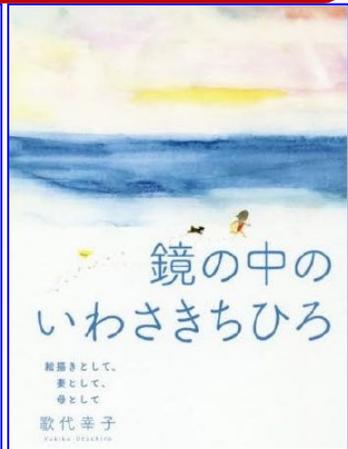
<福田 満氏(58回卒)> 新刊～  
渡辺出版 2019.6発売 258頁  
「オリンピックそれはフランスから始まった  
～よもやまバリと柔道人生回顧録」



<磯部 亮人氏(87回卒)> 新刊～  
BABジャパン出版 2019.4発売222頁  
「蘇れ!柔道最強説: スポーツと武道の本質、  
他武道・格闘技との構造比較でよくわかる」



<歌代幸子氏(90回卒)> 新刊～  
「100歳の秘訣」新潮社 2018.9 発売  
「鏡の中のいわさきちひろ」中央公論新社  
2019.5 発売



## 令和元年「青山同窓会・総会」

2019.7.12 ANAクラウンプラザホテル新潟

(記:東京会事務局・工藤義夫/74回)



恒例の青山同窓会7月総会の様子。教井会長談・がんばれ青山  
口座開設よろしくどうぞ。甲子園出場にも対処できる。花角知事  
も来賓挨拶。老若4百名弱が参加。最高齢上村元会長もお元気。

令和元年青山同窓会総会



## 令和元年度・東京同窓会「総会・新人歓迎会」続～集合B / 講演 / 斉唱

集合写真・B(横向き)



大越健介氏講演  
「ニュースの現場から」



新・旧校歌斉唱～ますらお合唱

# 64回卒・東京同期会報告“80代”～なお米寿までは～

記・星満 64回

令和元年5月25日(土)に、新潟高校第64回東京同期会を、日比谷の日本倶楽部で開催、出席者は37名。

昨年5/26～今年5/25間に亡くなった方は、東京支部で、八木信之君(5/31)、堺俊晴君の2名。新潟関係も含むと計5名で、最初に物故者に対する黙祷。なお、堺俊晴君は世界的に著名なテニスプレイヤーである。次に、五十嵐滋君の音頭で乾杯。その後、各自の近況報告で始まった。途中で五十嵐君の演奏により、校歌などを斉唱した。

64回生は昨年さらに1年歳を加えて、81歳～82歳。出席者は全員元気で、陽気に話していたが、話の内容はやはり病気や寿命のことが多かった。昨年と同様、東京オリピックは勿論、全員元気で米寿まで生きようということになった。

## 長く続く ～ 毎年の同期会は健在なり！



日比谷・日本倶楽部

2019/05/25

# 74回卒・東京同期会(酔都志会)報告“70代初め”まだ健在～

工藤義夫 74回

**酔都志会(よいとしかい)**とは東京の74期同期会。由来は、昭和41年卒＝”よいとし”…から。

大学1年の時から、亡くなった上田久則氏の四ツ谷「蕎」あたりに毎年集まり、ときには校長や先生方も呼んではお互い元気な姿を見せてきた。それからもほぼ、毎年開かれていた。一方、新潟では同期会は5年毎に開かれ東京やその他からも参加。

東京では、上田久則君歿後、幹事も変わり、そして元気の良かった近藤博君も他界、また菊池隆君も鎌倉から遠出できなくなり、少し元気がなくなったものの、とにかく1回集まることにしている。数年前まで、新潟から宮地先生(後年、校長)を招き、お元気な姿で懐かしき日を想う。宮地次いで山岸先生も他界、奈良・松浪両先生は尚ご健在とか…。

今回は女性8人を含め30人参加、神戸・奈良の女性も男性以上

に生き生きしてるね。彼女等からの提案で次回1泊旅はどう？例えば花巻でホテル志戸平の社長をしている岩城修平君のとこは？社長してる内にねと…。

では、そんな企画もありかと…思案橋♪。3時間のお喋り後、二次会にも10人以上、三次会夜10時、幹事の工藤はなぜか救急車(貧血)、初めて聖路加へ(笑)。

## <令和元年の酔都志会> 青山74回在京～“卒後53年” 2019.6.1 有楽町

まだ元気な30人うち、女子8人

ひさしぶりの顔誰だったかな？ 遠い記憶と今

九里保	石井明	秋元康夫	大石(美)美江	池田裕	高橋伸郎	河野敬一	豊田邦夫
田澤博史	西田(橋)百合子	藤田(畔上)広子	中村(大塚)公美子	小林淳子	岩城修平	井上(小田)祐子	丸山直人
伊藤宏	橋本昭一郎	中村義一	高橋保	大滝均	高橋英美子	加藤義久	工藤義夫
川田(高橋)澄子	大石憲一	原信一	竹之内明				



# “新人(127回卒)”寄稿 ~ よろしくお願ひします ~ <参加者等12人>

## 柳澤 広登 東大理科一類1年 剣道部(中~高~大)



先日は新人歓迎会にお招きいただき、ありがとうございました。これからの先輩方との交流がより一層楽しみになりました。

私は現在剣道部に所属しています。高校の部活との大きな違いは、自分の授業との兼ね合いで、どれくらい稽古に出席するのか、自分で決められるということです。勉強を優先するのも、部活を優先するのも、自分次第。強くなれるのも、なれないのも、自分次第ということです。この、自分の時間を自分で組み立てていくということとはとても難しいことだと思います。

勉強や部活以外にも、家事やアルバイトなどもあります。人生で一番多忙なんじゃないかと思うほど、忙しい時もありました。しかしそれが大学生活の中の一つの楽しさでもあるのかなと、最近では思っています。やることなく暇よりは、忙しいほうがやりがいがあるからです。大学生活はまだ始まったばかりですが、大変なことでも毎日楽しみながら頑張っていきたいと思ひます。

## 菅野 紀希 東大理科二類 高校:硬式テニス部



今回は私たち127期生のために素晴らしい歓迎会を開いてくださり誠にありがとうございました。この会に出席させていただき、幅広い年代の新潟高校卒業生の皆様様にお会いできましたことは、とても良い機会になったと考えております。東京という日本の中心地でご活躍されているみなさまからたくさんのお話を聞かせていただき、大学に合格していき安心していた私は、多くの刺激を受けることができました。

その中でも特に印象に残ったのは、大越健介氏の御講演であります。大越氏は、お話の中で「人を記号としてだけ見てはいけない」と強調されていました。現代は、移民排斥など、人を見つけて分ける特徴だけで判断してしまう風潮がありますが、大越氏は、これを懸念しており、もっと個々の背景に着目すべきだとおっしゃっていました。私も、人を記号だけで判断することは、差別的な見方であり、危険な行為であると思ひました。

しかし、今の私には、それがどれほど深刻なものになるのか実感としてありません。これは私の社会での経験の浅さによるものだと思います。これはの公立派な社会人である皆様との交流をきっかけに、私もその仲間に加わることができるようにこれからの日々を過ごしていきたいと思ひます。

## 石附 夏子 東京学芸大学教育学部



私は今、中等教育教員養成過程理科専攻に在籍し、中学2年生からの目標である、中学校の理科の教員を目指して勉強しています。入学してから4ヶ月が経過し勉強だけでなく、スポーツ大会やサークル活動など、新しい友達と充実した日々を過ごしています。

大学入学と同時に一人暮らしも始まりました。自分の好きなように時間とお金を使う生活では、楽しい面もありますが、それ以上に大変な面もあります。主に家事を全て自力でやらなければならないことです。実家で家族と暮らしていた高校時代は、ご飯は母や祖母が作ってくれ、洗濯や掃除も任せられてました。いざ一人暮らししてみると、大変なことがたくさんありました。初めのうちは、洗濯の仕方がわからないし、味噌汁の作り方もわかりませんでした。苦手な蜘蛛やムカデが出ては誰も助けくれません。足がつまも助けてくれる人がいません。また、家事に時間を取られて、勉強に集中できない時もあります。

新潟高校の教育目標のひとつに、「自主自律」があります。一人暮らしを始めた今、私ははじめて直面しています。一人暮らしをする前は当たり前と思っていた日常は、家族がいなくて成り立たなかったものであり、今まで自分がやりたいことをできていたのは、家族の支えがあってこそのものであったと痛感しました。これからは、今まで私を支えてくれた家族への感謝を決して忘れることなく、充実した大学生活を過ごしたいと思ひます。

最後に6月には新人歓迎会をご開催いただきありがとうございました。高校の先生や友人と、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。今後会う時には、より成長した姿を見せられるよう、頑張っていきたいと思ひます。

## 大滝 一朗 東大理科一類



新潟高校を卒業してから半年になろうという今、大学生という生き物になったのだと実感する。一括りに大学生と言ってもいろんな人がいることは、東京大学に来てから身に染みて感じている。

私は高校一年生の時にアメリカに留学していたが、それよりも海外経験がある人はざらにいるし、数学や物理の授業でもどこからその発想が降りてくるのかというような解き方で別解を生み出す人もいます。しかし、そんな彼らに共通するだろうことがある。それは大学生になって自由に使える時間が増えたということだ。別の言い方をすれば、暇になったのである。少なくとも私は。高校の時と比べると毎日部活する訳でもないし、受験期より勉強に動かしむこともない。それに起床時間や帰宅時間も家族に合わせる必要がない。

私は時間を無駄にすることは好きではなく、遅く起きると非悪感を覚えるたちなのだが、この有り余る時間をいかに有効に使うかということをよく考える。そこでだんだんと私なりの結論がまとまってきたと思う。それは、「とりあえずなんでもやってみて、合わなかったらすぐやめる」というものだ。私はとりあえず4つもサークルに入ったが、ほとんど行っていないサークルもある。でも、それで行ったことは全く後悔はないし、なんならもっと追いつくことも入ってみたいとも思う。基礎統計でも勉強が追いつかずテストを撤退するという選択をしたが、それで良かったと思う。

今までは義務教育や部活というルールの上で惰性で進んできた部分があったが、大学ではルールはもう無い。地続きのたくさんの分かれ道を進んでいかなければいけないと感じる。選択を繰り返すことは難しく疲れる。しかし、この考え方でとにかく私は迷うことがなくなった。私達の生きる令和はおそらく激動の時代となるだろう。それは人類の歴史が振り子のようにどんどん速く進歩と問題を繰り返してきただけでなく、最も確実性の高い人口増加のグラフが傾き変曲点を迎えているのからも明らかだろう。そんな世界でのこの考え方は、変化に対応する上で有用かもしれない。

## 中川 大喜 明治大学政経学部1年 高校:野球部・軽音楽部



「東京は暑いでしょう？」夏休み、久しぶりに帰省し実家に着いた時に、おばあちゃんから最初に言われた言葉です。

18年間共に暮らしてきた家族の言葉にちょっとだけ距離を感じました。「そうか、もう別々に暮らしているのか」と。あと、世間では猟奇的な事件や芸能界のゴシップなどが取り沙汰される中、おばあちゃんの一番気になっているのが「東京は暑いかどうか」という至極どうでもいいことなんだなあと思論とばあちゃんの「距離」も感じました。

7月は私の後輩たちである新潟高校野球部が、4年ぶりベスト4という結果を残してくれました。私たちが破ることのできなかったベスト8の壁を乗り越えてくれました。準決勝の舞台上に響いた全校生徒の本気の「丈夫」は画面越しにも本当に感動しました。改めて、新潟高校は本当にいい学校だなあと感じました。全国的に野球人口が減少し、県内のレベルも下がっていると言われているなか、時代と真逆のレールを爆走し、どんどん強くなっていく新潟高校が甲子園に出場する日が待ち遠しいです。



## 渡邊 眞子 上智大外国語学部露語科 高校: 山岳部



6月半ばに、青山同窓会新入生歓迎会に参加させていただき、そこでNHK報道局記者の大越さんのご講演を拝聴した。

そこで大越さんは、「記号として他人を捉えること」についてお話してくださいました。我々は相手を捉える、つまり認識するとき、ついつい相手を「記号」に当てはめてしまう。災害に遭われた方を「被災者」と。ジェンダーに特有性(この表現が間違っていたらごめんなさい。)がある方を「LGBT」と。外国から来た方を「ガイコクジン」と一括りにしてしまう。

確かに、他人を認識するとき名前と顔以外に、国籍、ジェンダー、学歴、職業などの「記号」を用いて認識するのは当然である。しかし、それが行き過ぎた社会ではないといけない。どんな人にもユニークなバックグラウンドがある。我々も当然、そんな単純な「記号」以上の存在である。そのことを忘れてしまえばいけないというお話であった。

この春から上京し、東京で一人暮らしを始めた(また、THE BLUE HEARTSの「青空」という曲が好き)私にとって、大越さんのお話はとても共感する内容であった。東京は人が多くて、関わりも多分(因果関係があるのか確認がないのだが)人間関係が「浅く広く」になる(気がする)。どれだけ多くの人と関わるようになったとしても、いや多くの人と関わるのだからこそ、外見、社会的地位、学歴などのパッと見て目立つ場所だけに注目して、わかりやすい「記号」を当てはめるのではなく、その人は今までどのような人生を歩み、どういうことを大切に、どんな人たちと一緒にいたのか、深い部分まで想いを馳せられる人間になりたいと感じた。

## 須貝 優貴 東京海洋大学 海洋工学部 海事システム工学科 高校部活: ボート部



私は今、船に乗っています。海技教育機構の練習船、日本丸にて1ヶ月間の航海実習の真っ只中です。本日、北海道室蘭港に入港しました。

私の夢は外航船の女性航海士になって世界中の海を航海することです。この春、東京海洋大学に進学し夢への第一歩を踏み出しました。

日本丸では毎朝6時に起床し全員で体操したのち、甲板の掃除をします。何を言うかというとなんとヤシの実です。朝ごはんを食べた後は実習や授業をします。昼ごはんを食べた後体操をしたら午後後課業があり、夕御飯は16時30分に食べます。早いです。しかしもう慣れました。シャワーは毎日ですが、船に井戸なし泉なので、清水は貴重なので、私は全身を一回濡らしてシャンプーをした後、シャンプーの泡でそのまま顔と体を洗って最後に一気に流しています。22時30分になると居室の電気が強制的に消えます。早寝早起き、とても健康です。ただ食事は1日3000キロカロリー出されるので、運動しないと太ります。おいしいです。

日本丸はとってもいい帆船ですが、そのかつよさが故に我々の居住スペースは非常に限られています。立って半畳寝て一畳の世界で集団生活のコツが身に付きます。帆船といっても今回の航海は帆ではなくエンジンを使って進んでいきます。航海中は帆で見張りをしたり、時には舵を握らせてもらえます。三陸沖ではイルカがたくさん会えました。毎日星も綺麗です。昨日石川県沖で夕陽が沈む瞬間に緑に光って見える、グリーンフラッシュを見ることができました。毎日楽しくやっております。毎日作業着を着て、マストのロープをわっしょいわっしょいと引っ張っている、自分が華も盛りの中身大学生だということを忘れてちです。でもいいんです。私は海と船に恋しています。この憧れと好き！っていう気持ちがいつか「愛」と呼べるものになって欲しいです。いや、変えてやり直す。そのためにこれから大学で精一杯学んでいく所です。

将来どんな船にのってどんな仕事をしたいか考え中です。多様な外航路を持っていて、国際的な仕事ができる職場に行きたいと思っています。先日、日本丸のキャプテンから世界中に沢山帆船があることを教えていただきました。その中で紹介されたラテンアメリカ諸国の帆船にいつか乗ってみたいです。夢は大きく世界は広く人生は短く！世界の七割は海です。をモットーに、これからは頑張っていく「丈夫」であります。 <2019.8.9 洋上にて>

# “新人(127回卒)”寄稿・続 ~ <参加者等12人>

**江川 優花**  
 首都大学東京理学部生命科学科



私は読書が好きだ。そのくせに頻繁に本は買わないし読むジャンルも多くない。一人の作家、一つのジャンルに固執して他の世界を開拓しようと思わない。おそらく私は、興味の矢印を向けることが苦手なのだ。受動的に物事の影響を浴びないと自分から行動できない。逆に友達を紹介などがあると、作品の文章や歌の世界観などが心にすっと入ってくる。文章がすっと入ってくる経験を見たのは、国語の教科書や試験だった。多くの先生方が選り抜いた珠玉の一冊だったからか、とても読みやすく面白かった。試験が終わるとその続きを読むために図書館にも行った。大学は余暇が多いから、「名作を読む」という目標を春に立てた。特に昭和初期に活躍した所謂文豪と言われる人たちの作品だ。彼らの作品が時代を超えて愛されるのは何故か。その答えはきっと本を読めば見つかるのだろう。新たな発見を見つけに、今日もまた一頁。

**川出 爽太**  
 東京工業大学 理学院



大学に入学してから早くも4ヶ月が経過しました。高校の時とは全く違う生活にも慣れ、勉強やサークル活動を楽しむ毎日です。現在理学院(他大学では理学部)に所属しこれから理学を中心に学びますが、大学名からはどうも工学系と思われよう、この4ヶ月間で、大学どこ？と聞かれ東工大と答えると、じゃあ工学系だねと言われるも自然な笑みを返せるようになりました。大学生活を満喫していますが、中でも一番の楽しみは理学書を読むことです。新しい定理や事実に驚きます。それらが全く関係ないと思う分野と密接な関係があることを知り感動もします。行間が埋められずうんうん唸り、1日も2日もかかって1頁を理解した時は無上の喜びを感じます。大学で来た友人と一緒に読み進め議論しながら新たな発見や知見を得てお互いに笑います。大学で学べる自分は本当に

幸せです。お世話になった、あるいはなっている先生方や親への感謝を忘れず、これから学問に邁進していきたいです。

**白井 基博** 東京外国語大 ポルトガル語科

今回の新人歓迎会には残念ながら当日参加できませんでしたが、寄稿する機会を頂きました。東京外語大に無事入学でき、今、専攻言語としてポルトガル語を学んでいます。高校生の頃はポルトガル語を学ぶことになるとは全く考えていませんでしたが、非常に楽しいです。先日、ポルトガル語専攻の卒業した先輩方とお話する機会があり、先輩は東京外語大では一から新たな事を学ぶことの重要性を学んだと言われました。それを踏まえて考えると、専攻後の勉強はその言語が話せるようになることだけでなく、新たなことに挑戦するという経験としても価値があると思います。まだまだこれから大学生活は長く続くので、貴重なこの期間に新たな挑戦をしていきたいと思っています。

**田代 紅絹**  
 東京女子大学現代教養学部 国際社会学科国際関係専攻



大学に入学してから1ヶ月経ちました。大学に入学してからというものの、月日の流れがいつそう速く感じています。思い返してみると高校時代はとも充実にあり、特に部活動は思い出に残っています。私は吹奏楽部に所属しており、学生指揮者として音楽面でも部を引っ張っていきながら、日々練習に励んでいました。様々な困難や挫折があり、辛かったことも多々ありましたが、夏のコンクールや秋のアンサンブルコンテストで金賞を受賞したことは今でも忘れられません。私は現在、東京女子大学現代教養学部国際社会学科国際関係専攻に在籍しております。1年生である今は基礎講義が主ですが、今後は専門分野や地域について研究していきたいと考えています。そのため、新潟高校で学んだ真理追求の精神を忘れず、今起きている国際問題などに目を向けて行く必要があると思っています。

6月には127回卒業生のために新人歓迎会を開いていただきました。ありがとうございます。改めて高校の友人たちの素晴らしい姿や大切さを感じました。これからの大学生活も自分らしく頑張っていきたいと思えます。

**北上 晃太郎**



東工大 情報理工学院  
 今回は東京青山同窓会にお招きいただきありがとうございます。同窓会への参加は今回が初めてのため、多少の緊張はありましたが、先輩方にも優しく話しかけていただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。また今回の同窓会では、NHK報道局にお勤めの大越健介様にご講演していただき、とても貴重なお話を聞かせていただきました。ご講演の中で、自分が興味を持った現場をインターネットや書物で調べるだけでなく、実際にその現場に赴き、現場を現地で人の話を聞くことで得た経験こそが何物にも代えられないものになるというお話にはとても共感しました。このことはニュースの現場だけでなく、人生経験の観点からも言えることだと感じました。自分の持っている考え方や価値観と全く違うものを持つ人達との対話を通して世界観を広げるという経験は、実際にその場に行くことでしか得られないものだと思います。私はまだ留学などの経験をしたことがないので、自由に使うことの出来る時間が増えるこの大学生時代の内に、有意義な経験が出来るよう努めたいと思います。その意味でも今回の同窓会はとても有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。ありがとうございます。



# 「7.24 & 25; 在校1,2年生の東京研修」~ 写真例(一部)~、記事は次回。

毎夏恒例、在校生の東京研修(1泊2日)は今年も開催、猛暑直前で幸い。7.24午後は東大の文理各分野の青山OB教授達からの模擬講義に目を見開かれ、夜は青山OB東大生達との懇談会も。翌7.25は午前と午後、各班に分かれての官庁や企業での研修に勤む。引率の先生も大変だが、訪問先で先輩達を、青山OB.OGが張り切って迎える。それぞれで熱心な説明があり、鋭い活発な質問にも明快に答える。こうした企画は、学校側の要望に応じて、毎年少しずつ新規の官庁や企業を事務局で紹介している。頼まれた青山OB.OG達も熱心に受け入れてくれ、頼もしい限りだ。少しは母校のお役に立てるかな？

< 記: 東京青山事務局・工藤 >



# “2019年・報道等に見る「青山ゆかりの方の記事」から”

編集:工藤義夫(事務局)

## ドナルド・キーン死去、養子キーン誠己氏談話～「穏やかに永遠の眠りに」

2019年2月24日、毎日新聞

24日朝死去した国際的な日本文学研究者、ドナルド・キーンさんの養子で喪主のキーン誠己さんは同日、報道機関に向けて「父は苦しむこともなく、穏やかに永遠の眠りにつきました。自ら選んだ母国で日本人として、日本人の家族を持ち、日本に感謝の気持ちをささげつつ、幸せに最後の時を迎えました。日本文学に生涯をささげ、日本人として日本の土となるのが父の長年の夢でしたから、この上なく幸せな一生だったと確信しています」との談話を発表した。

◆キーン誠己氏 ; 5代目・鶴澤浅造  
文楽義太夫節三味線奏者  
本名・上原誠己氏(青山77回卒)◆



キーン誠己氏

ドナルド・キーン氏→



## 迷宮入りの「悪魔の詩」訳者殺人、問題にされた2つのポイント【平成の怪事件簿】

2019/4/29(月) 11:00配信 デイリー新潮

ひとけのない夏休みのキャンパスで発見されたのは、喉を切られた死体だった。それはイスラム式の「処刑」だった。「悪魔の詩訳者殺人事件」は、平成を代表する迷宮入り事件のひとつである。(駒村吉重 ノンフィクション・ライター)

イランの最高指導者ホメイニ師が、イスラムを冒涜したとして英国人著者に死刑を宣告した話題の小説『悪魔の詩』の日本語版出版は、その滑り出しから波乱含みとなった。

翻訳者である五十嵐一筑波大学助教授、イタリヤ人の出版者バルマ・ジャンニ氏らが、東京都内の日本外国特派員協会で開かれた出版記念記者会見に臨んだのは、平成2年2月だった。会場には、在日パキスタン協会理事のライース・スピキ会長はじめ、出版に抗議するイスラム教徒の姿もあった。そんななか突如、1人のパキスタン人男性が、マイクを振りかざして会見席に飛び込んでいったのである。

男が取り押さえられるとバルマ氏はすかさず、言論と表現活動の自由を対決的な口調で主張した。すると今度は、ライース会長が、バルマ氏に堂々と「死刑宣告」を突きつけ「会場の空気は緊迫の度を深めたのだ。この異様な展開に「違和感と覚え」た五十嵐助教授は、同年4月号の「中央公論」に「私はなぜ『悪魔の詩』を訳したか」を寄稿し、その真意をあらためて語っている。

「一読者として興味を覚え、かつ一イスラム研究者としても、同宗教に対する冒涜の書ではないと判断したからこそ、翻訳を引きうけたのであって、何も言論出版の自由、表現の自由のためにひと肌脱いだわけではないのである」

混乱の渦中にありながら、冷静さを見失わなかった44歳の五十嵐助教授が、刺殺体で発見されたのは、会見から1年半ほどが過ぎた平成3年7月12日朝のことだ。五十嵐助教授が倒れていたのは、筑波大学人文社会学系A棟7階のエレベーター前の踊り場だった。

劇団の代表、バンドのボーカルも務めた五十嵐助教授は、執筆や演劇活動を通じて持論を積極的に発信していく行動派として知られ、その講義は、常時300人近い学生が詰めかけるほどの人気を集めていた。「死刑宣告されて危ないんだ」とど冗談を交えつつ、『悪魔の詩』を講義テキストに使うこともあったようだ。



◆備考:五十嵐一氏(青山74回卒)◆

## パリの心臓が燃やされた: ノートル＝ダム 市民の不朽の大加藍 仏文学者・野崎欽氏(寄稿)

2019年4月17日05時00分(朝日新聞掲載)

パリのノートルダム大聖堂の火災で失われたものは何か。仏文学者の野崎欽さんに寄稿してもらった。

ノートル＝ダムが燃えている。朝起きて家人にそう言われ、あわててパソコンでパリの報道に接し、絶句した。炎に包まれた大聖堂。なすすべもなく立ち尽くす人々。聖歌を歌う若者たち。15日午後7時前に出火し、数百名の消防士たちによる懸命の消火活動により、ようやく16日の午前3時半に鎮火した。

いうまでもなく、パリでもっとも由緒ある、だれもが知る建造物だ。「目の前でわれわれの心臓が燃やされていく」という市民の声が悲痛だったが、そのつらさは世界中で共有されただろう。

初めてノートル＝ダムの実物を見たときのことは忘れがたい思い出。大学卒業前の春休みに友人とフランスに旅して、パリの真ん中に位置するシテ島にそびえる古びた大加藍の威容を仰ぎ、「本当に存在していたのか」と驚嘆の念にとらわれた。写真や絵や映画でさんざん目にしてきたイメージが現実となった瞬間だった。

その後留学中、パリで暮らすことはノートル＝ダムとともにあることだと、たびたび実感させられた。セーヌを渡る時、ノートル＝ダムが見えると何か嬉しく、ほっとする気持ちになった。変貌を続ける大都市の中央に不朽の建物があることは、市民に大きな安心感を与える。その感情が今回の火災で深く傷つけられたのだ。12世紀に着工した大聖堂がいちおうの完成を見たのは13世紀半ばのこと。焼失した屋根組みは、長らく「森」と呼びならわされてきたものだが、そこには千年以上前の木材も用いられていたらしい。取り返しのつかない損害というわけではない。

たまたまこの春から原典購読の授業で、学生とヴィクトル・ユゴーの『ノートル＝ダム・ド・パリ』を読んでいるところだったので、驚愕はひときわ大きかった。カジモド(注:鐘つきのせむし男)の活躍の舞台となる「森」がそっくり燃えてしまったのだ。

しかしユゴーの古典的作品は改めて、このたびの火災に立ち向かうための勇気を与えてくれるのではないかと。そもそも彼が『ノートル＝ダム・ド・パリ』を刊行した1831年当時、大聖堂は直前の7月革命で荒されたばかりであった。それどころか、18世紀末のフランス大革命において蹂躪され、略奪され、破壊された傷跡はいまだ癒えていなかったのである。ユゴーはその現状に対する憤りに駆られて大聖堂に捧げる長編を執筆した。「尊敬すべき記念物の上」に「時の流れと人の手」によって「無数の損傷や破壊の跡」が加えられていることを彼は嘆いた。「パリの建築の歴史的な意味は、一日一日と消え去っていく」と述べ、「こうした意義ある建物は、新しく建てられた家々の波に沈みこんで、しだいに姿を消していくように見える」(辻租・松下和則訳、岩波文庫)と警鐘を鳴らした。ユゴーの小説が出て、ノートル＝ダムの復興への動きが巻き起こったのである。

今回の火災の原因はいまだ不明だが、意図したものでなくとも「人の手」によって引き起こされた可能性は大きい。だが再建もまた、「人の手」によるほかはないのだ。完全な修復に数十年はかかるだろうという、フランスの文化財管理専門家コメントが重く、悲しい。ノートル＝ダムが立ち直っていく様子をこれから見守っていききたい。

野崎 欽(のさき・かん)1959年生。東大教授を3月退職、放送大教授。訳書サン＝テグジュペリ『小さな王子』著書に「フランス文学と愛」など。



◆野崎 欽氏(青山85回卒)◆

## (天声人語)ひいきのチームを持つと

2019年7月4日 朝日新聞

どの球団でも応援には熱がこもるが、阪神ファンは特別だ。いや特別であると語ることに熱がこもるといふべきか。経済評論家の国定浩一さんが『阪神ファンの底力』で述べるには、どんな試合展開でも、熱心なファンは途中で球場を後にすることはない▼例えば0対7で負けていてもあきらめない。満塁ホームラン2本で逆転できるのだから。そこで1点でも返せば「いよいよ6点差まで追い詰めました！」と応援リーダーの意気があるのだという

▼ひいきのチームを持つとロー。スポーツと同じように選挙でも、それが大事なことで文芸評論家の齋藤美奈子さんが書いていた。ひいきがなければ「政治など誰がやっても同じ」と思ってしまうのは、当然だと▼「選挙とは、端的にいえば『ひいきのチーム』や『ひいきの候補者』とは、いま風にいえば『推しメン』かな、若者に向けて書いた『学校が教えないほんとうの政治の話』にある。

▼民主党が崩壊して、かつて想定されていた二大政党制は、幻のように消えた。1強多弱ともいわれて久しい。しかし、ものは考えようだ。ひいきのチームをつくる選択肢がたぐさんある、ということでもあろう▼参院選がきょう公示される。どの党が何をしてくて、何を訴えているのか。候補者はどんな人か。ちらりと、あるいはじっくりと新聞やネットを見よう。「親戦ではなく、参戦」。国定さんの言う阪神ファンの心がまえを、選挙でも。

## ◆ 齋藤美奈子氏

文芸評論家  
(青山83回卒)◆



## DeNA 南場智子会長に聞く、若者よ「起業バブル」の波に乗れ(抜粋)

2019.4.4 ダイヤモンド編集部+

世界市場を狙える日の丸ベンチャーが生まれにくい理由:

グローバルで通用するベンチャーがどれほど生まれるかということです。

日本のベンチャーは、日本人だけでやっているんですよね。そこが米国との圧倒的な違い。あちらは国内市場が巨大にもかかわらず、多国籍軍で最初から世界市場を考えます。例えば、デザインはシンガポールでやろうとか、プログラミング開発はイスラエルに発注しようとか。5~6人のチームでも、全員が米国生まれはマイノリティーです。片や、日本は大半がドメスティック。そして、中途半端に市場が大きく、海に囲まれているので大変特殊な市場です。

そうすると、将来的には世界を目指したいが、最初は日本市場で頑張ろうとなり、プロダクトが売れ、そこそこ成功した段階でジャパニョニークになってしまいい世界で通用しなくなる。起業の早いタイミングで世界市場を目指すには、例えば、歯を食いしばってでもグローバルのリスクマネーを受け入れた方がいいと思いますね。

——起業を目指している若者にメッセージをお願いします。

深く考えず、かっこいいからやれと。大企業よりも伸び伸びしていいよって。取りあえず、やってみて言いたいんです。昭和と違って平成は米国に全て持っていたいかったです。新時代に日本から世界に喜びとインパクトを与えるベンチャーが出てほしいですね。

## ◆ 南場智子氏(青山89回卒)◆

東京青山同窓会の講演  
2017.6.16



## “2019年・報道等に見る「青山ゆかりの方の記事」から”

編集:工藤義夫(事務局)

20歳の頃～トップ女性起業家の後悔  
自分の尺度で生きるの遅れた;  
DeNA 南場智子会長

&lt;インタビュー&gt; 日経 2019/7/1

「私は自分の人生を生き始めるのがすごく遅れた人間」。ディー・エヌ・エー(DeNA)創業者で会長の南場智子さん(57)は、女性起業家の先頭ランナーとして知られる。しかし、意外な後悔を口にした。米ハーバード大でMBA(経営学修士)を取得し、マッキンゼー・アンド・カンパニーでコンサルタントとして経験を積んだから起業した南場さんの人生のどこが「遅れた」のか。キーワードは「自分の尺度で生きているか」だ。

——DeNAを起業した頃を教えてください。なぜ決断できたのですか。迷いはありませんでしたか。

1999年、DeNAを起業しました。あのときの情熱は、まるで熱病にかかったようでした。当時、私はマッキンゼーのコンサルタントで、同社のパートナーになっていました。普及が進んでいた携帯電話でオークションサイトをやったら面白いんじゃないかとアイデアを思いついて、コンサルタントとして他社の知り合いに熱心に勧めたのです。するとその人から「君がやればいいじゃない」と言われた。私は他人にアドバイスするのが仕事でしたから、自分がやるという発想がありませんでした。一瞬、「え？」って思ったけれど、次の瞬間から「わーっ」と情熱がわいてきたのです。

主人以外のすべての人に反対されたのに、迷いはありませんでした。なぜ迷わなかったのか。もうこれは論理的には説明できません。情熱がわきおこってしまい、とにかくやりたくてたまらなくなりました。としか言えないのです。

## ～情熱に突き動かされて起業した～

このとき、私は初めて自分の人生を生き始めたと思っています。それまでの人生、私はいつも自分以外の誰かの尺度で決めていました。高校も大学も、就職先もです。もうちょっと早く、20歳くらいで自分の人生は自分の尺度で生き始めればよかった。本当に遅れたなあと思うのです。

## ■ずっと父の言うとおりに生きてきた

——「誰かの尺度」というのは、厳しかったお父様でしょうか。

大学生まではずっと父の言うとおりに生きてきました。新潟の地元では有名な怖い父でした。子どもの頃、友達の家泊まりに行ったことさえなかった。父が許してくれなかったからです。上京はもちろん大学進学だって反対。女子大ならいいと父がぎりぎり認めてくれた津田塾大に進学しましたが、東京にいても父が見張っているんじゃないかとひやひやしていました。

父から少しでも離れたくて、大学4年で米国に留学しました。父が留学費用を出してくれるわけがありませんから、必死で勉強して大学から奨学金をもらいました。父は留学にも反対しましたが、最後には折れてくれた。それで、留学中は毎日のように文通したんです。この時になってようやく、父を一人の人間として見るができるようになりました。父の筆跡をみて、文章を読んで、意外とユーモアのある人なんだなって初めて気づいた。亡くなるまで怖くて仕方なかった父でしたが、この文通のおかげで「怖いだけの人じゃない」と、乗り越えられたように思います。

——大学卒業後にマッキンゼーに就職したのは自分で決めましたか。

就職は父に決められたわけではないのですが、自分の尺度で決めたくてもありませんでした。マッキンゼーは当時ものすごく人気があって、みんなこぞって受けているから自分も受けてみよう

かなという程度。コンサルタントって何なのかもまったくわからないまま、就職を決めてしまいました。入社してからコンサルタントの仕事の厳しさを知りました。あんまりつらくて、逃げるようにハーバードに留学したほどでした。

DeNAを起業してから初めて、私は自分が事業が大好きなんだという事に気づいたんです。当時、もし本当に自分の尺度でちゃんと決めていたら、コンサルタントという道は選ばなかったでしょう。

## 「若いときから事業に関わらせてもらえる会社に身を置くのがいい」

——事業を自分でしてみたいなら、コンサルタントでは勉強になりませんか。

コンサルタントがダメと言っているんじゃないんです。でも、会社の経営や事業に興味があるなら、若いときから事業に関わらせてもらえる会社、小さくてもいいから事業の起承転結に自分でちゃんと携われるような会社に身を置くのがいいと思っています。あるいは、事業の神様みたいな経営者の横でカバン持ちをするような経験は、学びが多いでしょうね。

私の場合、起業してから、コンサルタントとしての経験が足を引っ張ったことも多くありました。そもそもコンサルタントはパートナーになるまで稼がなくていいから、収益の感覚が育ちません。人にアドバイスする立場だから話し方も理路整然と偉そうになって、かわいがられないキャラクターが身につけてしまっています。これらはすべて、経営者としてはマイナス要因ではない。私は10年もコンサルタントをしましたが、えらい論理的な人になっちゃって、ヤバかったですよ、本当に。

## ■起業できたのは仲間の力があってから

——コンサルタントから経営者に転身して、どんな苦労がありましたか。

自分を事業の世界で求められる姿にシフトさせるのに、時間がかかりました。コンサルタントは選択肢を複数提示するのが当たり前ですが、経営者は「これ！」と決める力が求められる。簡単な話でいえば、例えば会社のロゴの色をどうしましょう？というような決断を求められたときに、「最近のトレンドだとこっちだが、あの色はこういう効果があって……」などと理論を述べたことは、経営者には求められていない。むしろ「私はこの色が好きだからこれにしよう」という決断力が必要なのです。

それなのに、私は会議で選択肢A、B、Cを提示したりしていた。AとBは僅差だよなんて話を経営者がしてしまうと、チームに迷いが出ます。迷いが出ると成功の確率は間違いなく下がります。選択肢を示すより、とにかく決断が早いほうがいいこともありますよね。私がいつも言っている「正しい選択をしようとするより、その選択は正しかったと思えるようにしよう」というのは、まさにこのことなのです。

——DeNAを起業すると決めるとき、真っ先に何をしましたか。

仲間をつくりました。起業に迷いは無かったけれど、やはり1人では心細いですよね。この仲間がよかった。最初に声をかけたのはマッキンゼーにいた川田尚吾氏。起業の経験もあったので、相棒として彼を選んだのは大正解でした。このほかに、リクルートとかIBMにいた人たちが来てくれました。彼らが「南場さん、社長ならこういうふうな決断してほしい」と教えてくれたんです。コンサルタント的な発想の私を、仲間が経営者的な発想に引っ張ってくれたと思います。

## ■「親が喜ぶ」という尺度で就職を決めないで

——自分の尺度で生き始めるのが遅れたと感じている南場さんから、今の20歳前後の世代に贈るアドバイスはありますか。

20歳前後というのは、世の中のすねかじりから社会の一員に変わっていくタイミングです。就活は、初めて偏差値がない、大きな意思決定ですよ。中高大と偏差値という尺度の中で自分の手が届く一番いいところを選んできたと思うけれど、それはすべて他人の尺度。他人の尺度で選択している限り、あなたはあなたの人生を生きているとはいえません。職業選択は初めて、他人の尺度から解放されるチャンスです。絶対に「親が喜ぶ」とか「友達にドヤ顔できる」という尺度で就職を決めないでほしい。

自分が夢中になれるものは何か、自分の心に聞いてみてください。正解が1つというような日本の教育を受けていると、夢中になる能力がどんどん失われてしまうんですけど、20歳くらいになったら、できるだけ意識的に、自分の夢中になるものを自分で見つけて、自分で選んでいってほしいなと思います。

南場さんとお話をして、起業家に必要なのは、自分の「夢中」を見つける力、そしてそれを好きな仲間へ伝える力だと分かりました。何が正解なのかを迷わずに自分の「好き」に忠実なこと。

## &lt;南場智子氏; 青山89回卒&gt;



# “2019年・報道等に見る「青山ゆかりの方の記事」から”

編集:工藤義夫(事務局)

## 竹本 恵 (たけもとめぐみ)

◆東大で野球三昧、バイクで3年海外放浪／元記者・竹本恵／大事なのは「自分が仕事とどう向き合っていきたいか」◆

2019.03.06 日経DOORS

\*\*\*\*\*  
新潟高校には3年から編入。青山107回卒、東大野球部。東京六大学野球では投手で出場。教育学部を卒業後に、3年間、二輪で世界旅巡り。東京大学公共政策大学院。日経記者。結婚、出産(2子)、離婚後、子連れでスペインバルセロナにてMBA留学中。(千葉県出身、県立宮城第一女子高校から編入)  
\*\*\*\*\*



元新聞記者で、現在スペイン・バルセロナでMBA留学中の竹本恵さんから、月1回、20～30代働く女性向けのメッセージを送ってもらいます。第1回は、竹本さんのこれまでの歩みにフォーカスします。(全5回)・・・第2回は次号にて。  
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

## 日本各地を転々とした子ども時代

読者の皆さん、初めまして。竹本恵です。元新聞記者で、現在はスペイン・バルセロナでMBA留学中です。

日本経済新聞社に9年在籍した後、2018年の3月に退職し、7月末にバルセロナにやって来ました。9月から、晴れてESADE Business Schoolという学校でビジネスを勉強しています。スペイン語読みで「エサーデー」と発音します。皆さんにはあまりなじみがないかもしれませんが、フィナンシャルタイムズのMBAランキングでいうと世界20位の学校です。



私はいわゆる転勤族で、幼少の頃は父の仕事の関係などで広島県や福島県など日本各地を転々しました。中学から高校2年までは仙台市で過ごし、高校3年の時に新潟市に引っ越し。今思えばそんな時に転校しなくて良かったのですが、1年後に念願がなくて無事に東京大学に入学することができたので、本当に終わりよければなんとやら、です。かれこれもう、ちょうど20年前のことだとすると恐ろしい限りです。

## 東京六大学野球で野球がしたい

高校の時に起きたアジア経済危機に影響を受けて経済学を志しました、という格好がいいのですが、大学でやったことといえば「野球」に尽きます。実は「東京六大学野球で野球がしたい」と思い立ったのが東大に行きたいと思ったきっかけでした。中高はソフトボール部でしたが、野球が大好きだったし、勉強も頑張りたいと。なにしろそんなことを考える人はめったにいない、というのが私には魅力的でした。常に、やりたいことは全部やりたいのです。何かのために何かを諦めるということが



耐え難く「いや待て、それはただやりたくない言い訳なんじゃないか?」と自問自答しているうちに、少なくともベストは尽くそうというところに落ち着きます。そんなわけで大学では硬式野球部に入りました。私より何年前に、明治大学の野球部に米国人の女性がいたので、「日本人」女性で初めて東京六大学野球の公式戦に出場したのが私ということになっています。当時、多少話題になったので、30～40代以上の野球好きな人だと記憶の片隅に残っているという人もいられるかもしれません。男性に比べると体格は劣りますが、幸運なことに左利きだったので、アンダースローでなんとか活路を見いだそうとしました。全く結果は残せませんでした、とてもいい経験をさせてもらえました。

## このまま就職してもいいの?

毎日が野球漬けだったので、少しでも野球の役に立つようにと思い、大学の専門は教育学部の身体教育学に変えました。今は変わっているかもしれませんが、東大は1～2年次は全員が教養学部在籍し、3年になるときに専門の学部を選ぶシステムです。私が入学したのはほぼ全員が経済学部に進学する文科Ⅱ類でしたが、野球のことを考え教育学部に変えました。卒業論文も投球動作に関する研究でした。でも卒業後のことを考えなければいけない時期になった時、まだこのまま就職はしたくないぞと焦りました。まだやりたいことがたくさんあるじゃないかと。まだ見えない世界がたくさんあるじゃないかと。終身雇用が一般的な日本の社会でこのまま就職していいのだろうか。

そこで卒業後は海外を旅行することに決めました。もともと根が極端なもので、海外旅行するなら全部行こう、どうせならバイクで行ってやろうと思立ちました。幸い、当時の愛車がKawasakiだったご縁で川崎重工業にバイクやメンテナンスを提供していただくなど、たくさんの方が応援してくれました。

## 3年間、バイクで海外を放浪

そこからおよそ3年、海外を旅行しました。旅行というよりは放浪という言葉が適切なような気がします。オーストラリアを皮切りに、北中南米、ヨーロッパ、西アフリカを周りました。その中でも南米があまりにも魅力的で、かなりの時間を南米に費やしました。エンジェルフォール、マチュピチュ、ウユニ塩湖、パイネ、レンソイス……、挙げるといきりがないほどの広大な自然と、食べ物と人。スペインもそうですが、ラテン系の人たちはなんとというか、人生を豊かに送るすべに長けているのだと思います。当たり前かもしれませんが、人生は楽しいほうがいいのだと、教えてもらいました。

ポリビアの標高約3700mの場所にあるウユニ塩湖は、乾季には一面が雪のように真っ白に覆われ、雨季には数センチの水がたまり湖のようになる、とても美しい場所です。雨季はオートバイでは走れないので私は乾季に行きました。仲良くなった日本人の旅行者と一緒に、湖にあるホテルに滞在しました。

果てしなく続く真っ白な大地は丘巻の風景。そして湖の端のほうには少し水がたまっていて、真っ青な空を鏡のように映し、まさに空を飛んでいるかのような不思議な感覚でした。ちなみに水の中をバイクで走ると、エンジンやマフラーに塩が付いて固まって真っ白になります。

ちなみに、お金はどうしたのかとたまに聞かれますが、大陸間を移動するのは高いですが、滞在費はそこまでかかりません。南米なら宿泊費も一泊100円程度から。もちろん人や場所によりますが、ゴールデンウィークや夏休みに海外に一週間滞在する費用で、かなり長い期間、旅行し続けることも可能だと思います。

飛行機で簡単に一周できてしまうほど地球は小さいですし、地球の裏側で知り合いの知り合いに出会うほど社会は狭いですが、一生かけても周り切れないほど世界は広いですね。でもさすがに最後は疲れて日本に戻ることにしました。



さて、3年も日本を離れていると、すぐに日本の社会に適合するのは不可能です。でも3年離れて外から日本を見ていたからこそ、日本の良さにも良くない部分にたくさん気付くことができました。最大の疑問は、日本人ほど真面目に一生懸命働いている国はないのに、どうして空回りしているのだろうかということです。これは私の「人生のやりたいことリスト」の中の一つに残っていますが、いつか政治家になって少しでも日本をいい方向に変えられたらなと思いました。

## リハビリを兼ねて大学院へ、そして、新聞記者に

そこでリハビリを兼ねて、というわけでもないので大学院に行くことに決めました。東大の公共政策大学院というところ。卒業後の進路でいうと官僚になる人の割合が高いのだと思います。将来的に政治家を志すのにきっと役立つと思いますが、私の場合は何を学んだかというよりは、進学したおかげで社会復帰ができたということでしょうか。取りあえず当面やりたいことはやったので、しばらく「普通」に働いてみようと思決めました。何事も経験です。

恥ずかしながらここで、私の「将来の夢」の変遷を少し振り返ってみたいと思います。小学校の卒業アルバムには、オリンピック選手になりたいと書きました。もともとスポーツが大好きなので、スポーツ選手になりたかったというのは純粋に今も思います。

# “2019年・報道等に見る「青山ゆかりの方の記事」から”

編集:工藤義夫(事務局)

母が司法書士という影響が大きいですが、中学の頃は弁護士になりたいと考えていました。また、山際淳司さんの『スローカーブを、もう一球』が好きで、スポーツノンフィクション作家になれたらいいなとも思っていました。そして大学を卒業する頃は体育の先生でした。

当初は3年くらいで辞めるだろうと思っていましたが、結果的に9年在籍しました。この間、大小さまざまな企業を取材し、本当にたくさんのことを学びました。誰もが知っている大企業でも、まだできたばかりの小さな会社でも、話を聞けば聞くほど面白みが増していきました。愛着も湧きますし、世の中にはたくさん製品やサービスがあり、普段は気に留めることもない誰かが動いているおかげで、私たちは便利で豊かな生活を送ることができています。もちろんたいいてい人は、私を含めて、仕事に追われて日々を生きているのに精いっぱいだと思うのですが。

南米最南端の町はアルゼンチンのウシュアイアといいます。ここはとても風が強く、真横に曲がったまま育った木が観光スポットとして有名になっているほどです。ウシュアイアは南極ツアーの起点にもなっていて、私もフォークランド諸島と南極半島を巡る二週間のクルーズに参加しました。夏なると、半島の先だけだったので、思ったほど寒くはありませんでした。



ツアーではもうこれ以上見なくていいというほどのペンギンを見ました。が、私が行った場所には皇帝ペンギンは生息しておらず、いつか皇帝ペンギンを見にまた南極に行きたいと思っています。

## 「自分が仕事とどう向き合っていきたいか」

私が9年間で学んだ結論としては、どんな仕事にも意義ややりがいがある、結局、大事なことは「自分が仕事とどう向き合っていきたいか」だということです。

どんな仕事でもどんな環境でも、いい部分も悪い部分もあり、上を見ても下を見てもきりがありません。その中で自分はどこを見ていくのか。一見やりがいが少ないような仕事でも意義を見いだせる人はいるし、やりがいのありそうな仕事でも不満しか言わない人もいます。

また、趣味でも生きがいで育児でも介護でも、理由はさまざまですが、全員が仕事に100%の力を注げるわけでもありません。そんな中で、自分が抱えているさまざまな制約や、将来の夢や希望をひっくり返して、仕事との向き合い方に答えを見つけられているといいのかなと思います。男性よりは女性のほうが、この答えを見失いやすいと言えらるで、だからこそ、特に若手の女性にはぜひ考えてもらえるといいかなと思います。

## 人生のやりたいことリストを消化しなければ

ちなみに私は、その問いに答えることができなくなって仕事を辞めました。私が声を大にして言うまでもないですが、新聞記者の仕事は間違いなく、

とてもやりがいがあり意義のある仕事です。でも30代も半ばを過ぎ二人の子ども(2歳女児&5歳男児)と自分の人生を見つめ直した時、死ぬまでにまだまだ他にやりたいことがあるという結論に達しました。「人生のやりたいことリスト」を消化していかないと、あっという間に気力も体力もなくなってしまうだろうと気付いたのです。今でさえ、もう一人でオートバイで何年も海外を旅行する気力はなくなっています。

仕事を辞めるという決断、特に上司に伝えてもう後戻りできなくなる一歩を踏み出す時は、自分でも驚くほど勇気が必要でした。でも自分の性格上、辞めなかったことを後悔することはあっても、辞めたことを後悔することはないことは分かっていた。これが今年の3月のことです。この先のMBA留学に向けた準備などについては、次回に譲りたいと思います。

## 他人の物差しではかかれる人間にはなるまい

「他人の物差しではかかれる人間にはなるまい」と心に決めてから20年以上になります。この間、おおむね自分の好きなように生きてこられたかなと思っています。恥ずかしい過去や忘れてたい過去は山のようにありますが、それでも節目で下してきた決断に後悔するものはありません。こんな私をいつも支えているのは根拠のない自信です。私ならできる、と。根拠がないから、打ちのめされても、打ちのめされても大丈夫。でも本当は自分に自信がないから、強くなりたいたいいつも願ってきた結果なのだと思います。

自分を信じて今この目の前の一歩を踏み出せば、きっとこれまでは見えなかった世界が見えるはず。そうしてまた次の一歩を踏み出せるはずです。私の言葉を通して、誰か一人でも、悩んでいる人の背中をそっと押すことができれば幸いです。

## あとがき



私にとってのバルセロナのイメージといえば「太陽」。バルセロナの太陽の下でビールを飲めばいいことはどうでもよくなるに違いない、と信じてやってきました。そして実際その通りで間違いないです。

が、唯一の誤算は意外と雨が多くて寒いこと。特に11月ごろはよく降りました。地元の人に聞いたら「異常気象のせい」と言っていました。実際のところはよく分かりません。もともとあまり雨が降らない場所だからでしょうが、いったん雨が降るといとも簡単に道路が冠水してたちまち足元がずぶぬれになります。長靴必須です。

そして私が住んでいる所は、バルセロナはバルセロナでも郊外のサングガットという町。バルセロナの中心部からは電車で30分ほどの場所で、山を越えた内陸にあるため朝晩はかなり冷え込みます。今更ながら、日本にいた頃、会社の先輩が「バルセロナけっこう寒かったけど」と言っていたのをしみじみ思い出しました。

さて、スペインといえば生ハムがとても有名なことは皆さんもご存じかと思います。実際、スーパーに行くとかさんの生ハムが足一本丸ごとぶらさがっています。価格は一本20ユーロ台から百数十ユーロまでさまざま。いつかあれを買いたいけどさすがに消費できる気がせず、いつもはスーパーの量り売りで切ってもらっていました。ちなみにキロ15ユーロと安いですが、切りたてはおいしいのです。

そしてとうとう昨年末、クリスマスを機に丸ごと一本を買ってしまいました。もう買う機会もないだろうと思い、80ユーロほどのそれなりにいいものにしました。足を置く台と専用のナイフもそろえ、まさに食べ放題です。結論としては、やはりおいしい。そして、思いの外すぐなくなりそう。年末年始で友人などが来ることも多かったというのがありますが、

これでまた、人生のやりたいことリストが一つ消化できました。

## TOKYO 東京大学野球部

2001年東京六大学春季リーグ戦、対慶大1回戦で初登板(日本人女性初)、次いで対明大2回戦では小林千紘との女性同士の先発が実現。リーグ戦の通算成績は4試合登板、0勝1敗、防御率9.00。

左のアンダースローで層の薄い東大では多少なりとも出番に恵まれた。当時の話題を集めた。







年会費納入者一覧 ; H31.4.1 ~ R1.9.30 現在

本会は、皆様の年会費で運営しております。ぜひ、納付のご支援ご協力をお願いします。

Table with 7 columns listing members for various reunion events (e.g., 第50回, 第52回, etc.) with names and addresses.

第127回(15名) (参加者掲載、クラス順) 田代紅緒 中川大喜 渡辺眞子 須貝優貴 江川優花 菅野紀希 石附夏子 柳澤広登 高波海斗 川出爽太 北上晃太郎 大滝一朗 佐藤健介 松永幸哉 (注; 新人は総会納付分を年会費として計上した)

以上、計 (~2019.8.23)
・延人数 377名
・納付額計 848千円
\*\*\*\*\*
◆目標額 800千円◆

目標 450名!
当同窓会は皆さまの「年会費」によって運営しております。年会費納付のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。